

岩手県立大学総合政策学部アイーナキャンパス講座

総合政策学部産業講演会

一産業編：アフターコロナを見据えた経営基盤強化へ戦略策定のヒントを探るー

主催：岩手県立大学総合政策学部

主催者挨拶

岩手県立大学総合政策学部では、地域シンクタンクとしての機能を果たすべく、県内の行政機関や産業支援機関、企業経営者層の皆様向けに最新情報を提供するため、継続的に産業講演会を主催しております（年2回、上半期と下半期）。

コロナ禍の影響を受けて上半期の講演会実施を見送りましたが、今回（15回目）の産業講演会では、コロナ禍後を見据えた岩手県の産業と中小企業の基盤強化に向けて、最近のキーワードとして注目が高まっている『DX（デジタルトランスフォーメーション）』と『デザイン経営』について、戦略策定のヒントとなる講演をご用意しました。

コロナ禍でオンラインセミナー（ウェビナー）ブームとなっています、主催者の近藤が参加している学会や研究会でもオンライン開催が中心となっています。しかし、オンラインセミナーの長所も分かってきた半面、短所も分かってきました。オンラインの長所は、(1)時間が無い場合に参加が容易であること（途中参加退出が容易）、(2)交通費や移動時間がかからないため遠隔からの参加が容易であること、等が挙げられます。一方で、オンラインの短所、つまりオフラインの長所は、(1)講演者の熱量が伝わりにくいこと、受講者が講演者の熱量を感じにくいこと、(2)議論の場の空気感が伝染せず、またリアル感が無いことから活発な質疑応答になりにくいこと、(3)講演後のあいさつや名刺交換ができないためネットワークが広がらないこと、等が挙げられます。つまり、オンラインの良さと、オフラインの良さは表裏一体と考えられます。そこで、今回の講演会はオンラインとオフラインのハイブリット（講演会と講演会のLive配信（後日、オンデマンド配信を検討））で実施することにしました。

本講演会は、各講演者による最新動向についての講演となります。注目分野の最新情報の入手ができる機会をご提供できると考えております。参加者の皆様の事業にお役に立つ講演会であると思っておりますので、この機会にぜひご参加ください。

■日時

2020年12月21日（月） 13時00分～17時30分（受付開始：12時30分）

■場所、Live配信

- ・オフライン：本学アイーナキャンパス 学習室1
（盛岡駅西口、<http://www.iwate-pu.ac.jp/outside/aina/toppage.html>）
- ・オンライン：Live配信
（ZoomによるオンラインLive配信）

■参加料

- ・オンライン、オフラインともに**無料**（お気軽にご参加ください。）

- ・申し込み方法：下記 URL から参加申し込みをしてください

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScJiKFnWqf-XMk2C1mtOyFWC0e1MqAoZBwVXuoekXwvpiSiVA/viewform?usp=sf_link

※オフライン参加の方：会場まで直接お越しくください。名刺を1枚持参ください。

またコロナ対策の関係で来場制限があります（先着順40名まで）。

※オンライン参加の方：参加の方には後日参加者用の URL を送信します。

- ・なお、恒例の講演会終了後に講師を囲む懇親会（兼忘年会）は、コロナ禍の影響を鑑みて今回は見送りさせていただきます。ご了承ください。

■講演内容及び講演スケジュールについて

12：30 受付開始

13：00 主催者挨拶と本講演会の趣旨説明

13：10 講演① 臼井重雄 氏/パナソニック(株) デザイン本部 本部長

テーマ：(仮)「テック企業から家具メーカーまでデザインが可能にした新しい協業」

内容：現在、注目が集まっている「デザイン経営」。それを導入しているのは、スタートアップやメガベンチャーなど新興企業がほとんどだと考える方は多いでしょう。いわゆる「日本の大企業」に勤める人は、それを実行するのは困難だとハナから諦めるか、あるいは気鋭のデザインファームに依頼することで、その糸口を掴もうと試みるかもしれません。そんななか、パナソニックは自らデザインの可能性を追求し、変革を遂行し続けています。その象徴の一つとして生まれたのが、2018年4月京都に開設されたアプライアンス社デザインセンターです。新拠点ではこれまで二つに分かれていた家電デザイン拠点を集約し、他部署や外部パートナーとの共創を手がかりに、新たな製品開発がスタートしています。今回はその所長であり、2019年4月に全社部門であるイノベーション推進部門内に新設されたデザイン本部本部長も兼務する臼井重雄さんを迎え、デザイン経営を実践から紐解きます。

(https://update.prttable.com/contents/panasonic_usui/ より抜粋)

14：20 講演② 福本 勲 氏/株東芝 デジタルイノベーションテクノロジーセンター チーフエバンジェリスト

テーマ：「With コロナ時代における製造業のデジタルトランスフォーメーション(DX)」

内容：現在、多くの企業が、将来の成長・競争力強化のために、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みを進めつつあります。しかし、IoTやAIなどのテクノロジー面の話題が先行し、ビジネスモデルの具体像をどう描けばよいのか、自社が保有する差別化・優位性はどのように発揮すればよいのか、他社との連携はどのように実現すればよいのかなど、進むべき方向と進め方に悩む企業や実務者は依然多いと考えられます。また、現在、新型コロナウイルス感染症が世界中のさまざまな活動に多大な影響を及ぼしており、ヒトの対面でのコミュニケーションを前提としたビジネスの弱さや、グローバル・サプライチェーンの分断による生産停止リスクなどが露呈されています。今後「With コロナ」を見据えた事業活動の見直し、転換をはかろうとする動きが加速していくと思われます。本講演では、DXの実現において重要となるステージや、新型コロナが製造業のデジタル化の取り組みにもたらす影響などについてお話しします。

- 15:30 講演③ 県大(近藤研究室)との地域協働研究の成果報告 (各 30 分×2 報告)
- ・地方独立行政法人岩手県工業技術センター 産業デザイン部
研究課題名：県内中小企業におけるデザイン活用に関するモデルの社会実装とインフラ構築－岩手版（地方版）デザイン経営モデルと支援システムの確立
講演：三好純矢/総合政策学部講師、近藤信一/総合政策学部准教授
 - ・県北広域振興局二戸保健福祉環境センター・社会福祉法人いつつ星会
研究課題名：地域介護福祉事業者での新技術を活用した現場の効率化と働き方改革－要件定義の抽出とプロトタイプ開発を意識したモデル構築
講演：荒塚美貴/総合政策学部4年生、近藤信一/総合政策学部准教授
- 16:40 講演④ 総合政策学部近藤研究室よるゼミ研究の成果報告 (25分)
- テーマ：「円滑な事業承継とその後の発展に向けた「後継者の経営革新による事業承継好循環モデル」の提案-センスメイキング理論を用いた定性的実証研究からの構築-」商工中金総合研究所向け懸賞論文投稿報告
- 講演：瀬谷景梧（ゼミ長）、阿部瑠莉、金澤杏司朗、去石夏菜、千葉唯愛
- 17:05 質疑応答
- 17:20 名刺交換会
- 17:30 終了

■お問い合わせ先

岩手県立大学総合政策学部 准教授 近藤信一研究室
TEL 019-694-2786 (研究室直通)
FAX 019-694-2701 (総合政策学部事務室)
E-mail kondo_s@iwate-pu.ac.jp